たかさご新聞

クラス会が一致団結し、ひとつになり、体育まつりを盛上げよう

クラス会がひとつ Weare the one

参加しやすい競技や昼休みのアトラクションや応援賞等を準備しており、多くの参加をお待ちしています。

競技種目は、以下の４種目です。激しいスポーツや運動量の多い競技種目は有りません。お気軽に参加できます。

競技不参加でスタンド応援のみの参加であっても、ケガ保険の対象になり参加人数の把握が必要です。

スタンドでの応援や競技参加の申込やお弁当の注文は、クラス会長までお願いします。お弁当には、お茶は付いていません。必要な場合は、クラス会で準備をお願いします。

同窓会の締切りは、５月２日（金）です。

体育まつりのご案内
日時：6月3日（火）10:00～
場所：総合体育館（泉野出町）

競技種目のご案内

No.	イメージ図	競技名・競技概要	賞品
1	お玉レース	ルンルンボールでガッチリ お玉にボールをのせ、落とさないようにコーンを廻って、次走者にリレーする。	1位 2位 3位
2	色合わせ	カラーが決め手プロポーズ 椅子のボックスからボールを選び、色が一致すればコーンを廻ってリレーする。	1位 2位 3位
3	缶積み	成果は缶だのみ 缶などを積み上げて、審判からOKが出たらコーンを廻ってリレーする。	1位 2位 3位
4	クジ引き	正直者に福来たる スタートからゴール位置まで行き、当りのクジを引いた人が商品をゲットする。	1位

発　行
高砂大学校同窓会
会長　泉屋和雄
〒920-0901
金沢市彦三町1-15-5
金沢中央公民館2F
TEL(076)261-8101
FAX(076)261-8149
(HP)http://www.takasagoob.net

QR コードで
ホームページ

高砂一座をみんなで盛上げよう

練習中のひまわり会

ひまわり会のみなさん

４月４日（金）に高砂一座出演に向けて練習中の「ひまわり会」を訪問し、意気込み等を聞きました。

ひまわり会とは、民謡舞踊の会員数10名のサークルです。民謡舞踊は、民謡の曲に合わせて、繰り返し踊ります。

会長の碓井（うすい）さんによると、高砂一座では、「よさこい鳴子踊り」と「花笠音頭」の２曲を予定し、練習中の「花笠音頭」を見せてもらいました。花笠を手にしてリズミカルに上下移動や体の回転や後列と前列との入替等が有り、大きな動きの有る踊りです。合いの手もあります。

「よさこい鳴子踊り」では、鳴子で音を鳴らし、観客との一体感を演出するために、前席の観客に、鳴子を配り一緒に音を鳴らすとの事です。さらに民謡踊りを一緒に楽しみましょう！」と会員募集中との事です。

講師の島田先生からは、晴れの舞台で完成度の高いパフォーマンスの披露や観客を巻込んでみんなを楽しませたいと、意欲的に話されました。

ひまわり会のみなさんが、お揃いの着物で素敵な民謡舞踊が会場を盛上げる事を期待しています。

Ｊ・ハーブクラブ

４月17日（木）に「Ｊ・ハーブクラブ」の福田会長からお話をお聞きしました。サークル名の変更は、大正琴以外に楽器の幅を広げる事と講師体制の変更が有ったとの事でした。

Ｊ・ハーブクラブのみなさん

高砂一座では、みんなが良く知っている「ふるさと」等の４曲を披露し、自然と口ずさんで一緒に唱和し、元気に明るく歌い、会場を盛り上げます。との事です。楽しいショータイムを期待しています。

２５８人が高砂大学校で学びを開始 ご入学おめでとうございます

１１９期（令和７年度）１組94名、２組93名、３組71名、計２５８人が４月25日（木）に高砂大学校に入学しました。令和６年度の入学者数２１７人より41人増加しました。

公務多忙の教育長に代わり小川晶子生涯学習課長が式辞を述べました。

来賓の村山卓市長より「社会人として働いた後に、高砂大学での学び直しに敬意を表します。皆さんは、アクティブシニアと言われていますが、意欲的に活躍し、期待される世の中になっております。学びを通して、同級生同士の交流を深め、人と人の関係を構築して欲しいと思います。さらに同窓会組織があり、その中には様々なグループ活動があり、発表会などもあります。１年間を楽しんで、学びを充実させ、今後の人生に繋げる事を期待しています」と祝辞をいただきました。

続いて、泉屋和雄同窓会会長より「学問というのは人間としていかに生きていくかという話があり、年齢を重ねるほど、新しい発見があると思います。一緒に勉強し、同窓会に入会し、共に学べればと思っています」と祝辞がありました。

最後にアトラクションとして高砂合唱クラブが、揃いの衣装で、ピアノ伴奏による合唱を披露しました。

高砂大学校入学式で市長が祝辞

令和７年度　高砂大学校同窓会総会を開催

令和７年度高砂大学校同窓会総会が４月11日（水）13時30分より彦三館大研修室で開催されました。

来賓として金沢市長村山卓様、中央公民館長松本直様、彦三館長田鶴直人様の出席を戴きました。

総会は、各クラスからクラス人数に応じて選出された代議員より構成され、代議員総数108人中95人の出席で総会は成立しました。

議長として、114期２組の流裕一氏が選出され、①令和６年度事業報告②令和６年度収支決算報告③令和６年度会計監査報告④令和７年度事業計画（案）⑤令和７年度収支予算（案）⑥役員改選提案が議事として審議され、賛成多数により承認されました。

総会に次ぐ意思決定機関であるクラス会長会議で、令和７年度事業計画の詳細な内容の説明が有ります。

高砂大学院に３６０人が入学 さらなる学びをスタート

60期（令和７年度）３６０人が４月25日（金）に高砂大学院に入学しました。令和６年度の入学者数３２２人より38人増加しました。

歴史民俗科117名、花樹園芸科74名、文学美術科90名、悠々健康科79名、計360名です。

来賓の村山卓市長より「お仲間との学びの繋がりや生涯学習に向けた意欲や地域貢献も含めて、豊かな生活をご祈念しております」と祝辞を戴きました。

続いて、泉屋和雄同窓会会長より人生１００年を25年ずつに分ける古代インドの四住期を話題にし、一緒に頑張りましょうと祝辞が有りました。

最後にアトラクションとして高砂合唱クラブが、揃いの衣装で、ピアノ伴奏による合唱を披露しました。

高砂大学院入学式で市長が祝辞

令和７年度　第１回クラス長会議を開催

令和７年度第１回クラス会長会議が４月18日（金）13時30分より彦三館大研修室に於いて開催され、クラス総数71クラスから代理も含めて60人のクラス会長が出席しました。

最初に金沢市民憲章の唱和を行いました。来賓として中央公民館長松本直様から祝辞を戴きました。

令和７年度同窓会総会や事業計画や収支予算等の報告事項の説明が有り、続いて、審議事項として、第45回すこやか体育まつり、第43回作品発表会、第47回高砂生きがい演芸発表会、看護学生の臨地実習、福祉・涉外事業、「同窓会だより」及び「たかさご新聞」の原稿募集、復興支援バス研修旅行等の説明を各担当より行いました。

参加者より不明点や課題に関する質問等が有りました。

出席者のみなさん

出張！輪島朝市

出席者のみなさん

能登復興支援のためにオレンジ色の登り旗やテントの「出張！輪島朝市」に出店頂きました。

リーダー研修会のご案内
能登半島地震の被災体験からの３視点

テーマ:能登半島地震の被災体験から考える防災・減災の3視点(孤立集落の被災体験に学ぶ)
3つの視点:①正しく想定する。②役立つ準備をする。③努力して対応する。
講師:石川県教育振興会会長　竪畑(たてはた)政行さん
日時:6/10(火)13:30～(彦三館大研修室)　受講対象者:クラス会長、グループ代表者

◇去年の能登半島地震・豪雨で甚大な被害に見舞われ、復興に追われる日々が現在続いています。

今後の防災強化につなげるために、防災講座を企画しました。

「正常性バイアス」とは、大規模災害が発生した際に、「正常の範囲内だ」と判断し、冷静さを保とうとする姿勢を指します。別な言い方をすると、危険な状況でも「まだ大丈夫だろう」と楽観的に考えてしまうことです。日頃から「正常性バイアス」を意識する事が重要です。

竪畑さんは、令和６年１月の能登半島地震でご実家の輪島市で被災され、その時の体験について講演されます。

竪畑さんは、元小学校の校長先生で高砂大学校の講師を務められておられます。

受講対象は、クラス会長およびグループ代表者ですが、受講を希望される同窓会会員は、クラス会長より同窓会事務局へ連絡をお願いします。

令和６年度最後のスマホ教室を開催

令和６年度最後のスマホ教室が３月31日（月）午前に開催されました。受講者は、20名で、講師は通信キャリアの女性４名です。

研修用貸出し専用器材を用意し、受講者全員が同一機種のスマホを使用して、講義が行われました。講師がスマホ画面を前方のスクリーンに映し出し、その画像に合わせて受講者がスマホを操作しました。

高齢者にとって難易度が高い画面からの文字入力では無く、マイクボタンをタップして手軽な音声入力を体験しました。句読点や改行も音声で入力可能な事も体験しました。さらに音声入力後に録音するボイスメッセージ送信も体験しました。

不明点が有っても同一機種なので、隣同士でスマホ画面を見せ合うシーンが見られ、また手が止まって悩んでいると、講師がすぐに後方より駆けつけ解決し、効率的にスムーズに講義が進行しました。

講義内容では、基本的なＬＩＮＥトークや友達登録が行われ、全員が同一レベルで操作が出来るようになりました。

途中の休憩時間を挟んで、再開されました。休憩後は、３～４名でグループを組んで、ＬＩＮＥのグループ登録やＬＩＮＥのビデオ通話を体験しました。グループでのビデオ通話では、顔や背景等のエフェクト設定も試し、グループ内で会話が弾み、楽しい研修時間となりました。

最後に令和６年度度の締め括りとして、同窓会泉屋会長より講師へのお礼や受講者のさらなるスキルアップを期待する挨拶が有りました。

積極的な質問や今まで知りたかった操作方法を受講者が理解し、仲間とのＬＩＮＥトークやビデオ通話等が可能となり、４名の講師に感謝の拍手が送られ、スマホ教室は終了しました。

スマホ教室の受講者

ランチタイム・オンステージ（４月）

草笛愛好会と金沢ひびき会によるコラボ・ランチタイム・オンステージが４月４日（金）12時半より開催されました。

初めに、ＭＣ担当の久保田（同窓会）から、草笛愛好会と金沢ひびき会の趣の異なる異色のコラボレーションが実現し、大変楽しみですと紹介され、大きな拍手でお迎えくださいとアナウンスが有りました。

草笛愛好会の藤田会長が、オープニングトークで相互関税にふれ、あの大統領とは同い年と話され、笑いを誘いました。童謡歌曲「みどりのそよ風」を力強い音色の草笛で演奏しました。歌詞カードが配布され、観客も演奏に合わせて一緒に熱唱し、会場は約60人の観客で満員となりました。

続いて、「荒城の月」で有名な滝廉太郎のプロフィールが紹介され、演奏に合わせて「花」を全員で熱唱しました。「花」は、桜咲く春の情景を美しいハーモニーの曲で、ずっと歌い継がれています。根強い草笛ファンからステージの出演者にプレゼントが贈られました。

コラボで「北陸新幹線唱和」と「加賀ばやし」の２曲が演奏され、熱唱しました。

草笛愛好会と金沢ひびき会

金沢ひびき会の轟会長にバトンが引き継がれ、「土俵のヤ」「男の土俵」「目指せ頂点　大の里」の３曲の相撲甚句が披露されました。日本人の心を掴む七五調の哀愁を帯びた節回しで「あーどすこい どすこい」や「ホイ」といったかけ声や合いの手が入り、会場は一体感に包まれ、盛り上がりました。

最後に、ＭＣより今後の出演募集案内を行い、終演となりました。

次回以降は以下の日程となっています。多くのみなさんの来場をお待ちしています。

ランチタイム・オンステージの6・7月スケジュール

月日	出演サークル
6／18(水)	謡曲教室(高謡会)(女性のみで出演)
7／8(火)	らくらくピアノ

俳句・短歌
さんご句会

万緑や車窓はなさぬ白樺　八重子
草棚や旅のリュックの家族連れ　紀子
「こいのぼり」に遊んでる幼なき子　依子
薫風に背中押されてまた一歩　紀代
天守閣遠くに望む春の海　ひろみ

石蕗句会

薄墨の水面に映える花見船　濤華
母を待つ一人遊びのしゃぼん玉　ミイ
笑いたる夫の写真に花見酒　素子
流れつつ色を変えたりしゃぼん玉　雅夫
喧騒も楽しき響き花の宴　翠風

雪椿句会

春分や墓苑の妻と語り合ふ　高三
魚影や乱れ流るる花筏　房義
散策や楽あり苦ある春嵐　順治
クローバの四つ葉見つけてあの人に　陽子
春コート知らず知らずの早歩き　節子

ＯＢ短歌会

温めしミルクに砂糖春日和このままがいいさめないままで　妙子
庭隅に寒さにもめげぬ春蘭のつのぐむ花芽春待ちてゐる　信夫
どくだみは庭いちめんに花咲かす過疎の町にはわがもの顔に　重子
ざっくりと切りて椿を大壺にかたき蕾もほころぶ立春　宏子
ゆきゆきて物を買うたのしさいつも戻る大地震襲いし輪島朝市　千佳子

俳句クラブ「高砂雪椿句会」新入部員募集中！

高砂雪椿句会　会長
１０８期２組　宮本　順治

春の訪れとともに、新しいことを始めてみませんか？

俳句クラブでは、季節を感じ、言葉で表現する楽しさを味わうことができます。

俳句とは？　五・七・五のわずか十七音で、自然や心の動きを表現する日本の伝統文化です。短いからこそ、言葉選びが奥深く、自由な発想で自分だけの世界を作れます。雪椿句会ではこんな活動をしています！

句会:みんなで俳句を作り、お互いに感想を伝え合う
学習:南邦夫講師の評価とアドバイスで手直しをします
吟行:近くを散策しながら季語を探す
発表:新聞3紙への応募や作品発表会投句

活動日:毎月1回　第一月曜日13時より
活動場所:彦三館
会費:月千円　新規入会金千円
問い合わせ:会長　宮本順治　090-3888-0722まで

初心者も大歓迎！「俳句って難しそう…」と思うかもしれませんが、まずは気軽に五・七・五を楽しむことから始めましょう。

部員の声　「日常の何気ない景色が、俳句を通して特別に見えるようになりました！」「言葉の奥深さに触れ、表現する楽しさを知りました。」私たちと一緒に、言葉で季節を切り取る楽しさを味わいませんか？

見学・体験入部も大歓迎！ぜひ気軽にお越しください。

雪椿句会の講師先生と会員

高砂グリーン会の紹介

高砂グリーン会　会長
１１１期３組　奥野繁雄

本年度、設立５周年を迎えます。

昨年度は、能登半島を中心に、地震、豪雨今年に至っては豪雪と、立て続けに襲われ被災地では、生活破壊に見舞われました。グリーン会においても、知人、親戚等の方で少なからず影響を受けられた方もおられました。

令和６年新年会総会（２月開催）からの例会（年６回開催）を並びに、暑気払い懇親会、忘年会を通じて、いつの間にか笑顔が戻り、令和７年度の年間活動計画を作り上げる事が出来ました。本年度は、設立５周年の節目であり、３月、４月、５月、９月（会長杯）10月、11月（納会）の６回のゴルフコンペに加え、６月には日帰り研修として輪島市門前地区を主に災害復興状況の視察、夏には懇親会暑気払いのイベントの開催、11月納会は、５周年の記念と忘年会を兼ねての一泊２日２プレーのゴルフツアーを計画しました。

本年度の、ゴルフシーズンの幕開け、第１回例会を３月24日（月）に千羽平ゴルフクラブにて、会員15名＋ゲスト１名参加にて和気あいあいとプレーする事が出来ました。第２回例会は、４月16日（水）石川ゴルフ倶楽部18名参加予定。第３回例会は、５月21日（水）白山カントリー　松風コース20名参加予定。

ゴルフ競技は、何かにつけ言い訳が飛び出すスポーツ。当然我々も、世評に負けず劣らず、風に押し戻された、カップ周りの淵がガタガタでカップイン出来なかった、砂場（バンカー）の整備が悪かった等々自らの失敗を棚に上げ愚痴る。それも、メンバーと話し合いながらプレー、青空の元自然の空気を腹いっぱいに吸い込み。季節の移ろいを目で、クラブを杖代わりにコースをモタモタ振り歩き楽しんでおります。

メンバーの最高齢の方は、今年85歳になられます。目標がエイジシュートです。（自分の年齢と同スコアで18ホールを終える事）

ゴルフは、なんとか歩ける限り楽しめるスポーツです。皆さんの中で、プレーしてみたい方は、ゲスト参加ＯＫですので是非連絡くださいね。

グリーン会のメンバー

目指そう100　健康寿命
高砂グリーン会連絡先
Tel/Fax076-257-1877
携帯 090-9762-2442
メルアド　s-ok@outlook.jp